

かまくら

ひろまちだより VOL.9

主なニュース

- ・ハンゲショウ色づく
- ・稲が育っています



ハンゲショウ色づく

ホタルの乱舞が落ち着きを見せる7月初旬、広町緑地の枝谷戸にハンゲショウが咲き始めます。葉の半分が白く化粧をしたような色づくハンゲショウは、ドクダミの仲間です。小さな穂状の花をつけます。御所谷カエル池付近の枝谷戸などで見られ、梅雨時の広町緑地の風物詩となっています。

稲がすくすく育っています

6月9日(土)に田植え祭を開催し、約300名の参加者が7枚の田んぼに購入したうるち米と育てたもち米の苗を植えました。ぐんぐんと伸び始めた苗をぬうようにカモが泳ぎ、水生昆虫やドジョウ、トンボなど、さまざまな生き物が田んぼで活動しています。

これから草取りや水管理で田んぼ作業が忙しくなります。ボランティアは自由参加ですので、皆さまお気軽に田んぼの作業にお越しください。



広町緑地を歩こう vol.8 ～通称とんぼ池～



管理事務所から、ホタルの観察スポットでもある「きはちの窪」方面に進むと、木道の手前に池があります。この池は、大水などで生き物が流されないようにするストック池として設置されたものですが、多くの種類のトンボが見られることから、通称とんぼ池と呼ばれています。都心部ではなかなか見られなくなったギンヤンマ、クロスジギンヤンマのほか、大型のオニヤンマが木道付近をパトロールする様子も観察できます。

※鎌倉広町緑地リーフレット中面「鎌倉広町緑地散策マップ」をご参照ください

季節の草花紹介 vol.5 タマアジサイ



夏に谷間や沢沿いを好んで咲くアジサイ。開花前に球のような形をしたつぼみをつけ、広町緑地では竹ヶ谷エリアの道沿いなどで見られます。花期は7～9月、鎌倉の社寺の日かげ地などでもよく見かけられます。

季節の動物紹介 vol.5 ホトケドジョウ



湧水のある緩やかな細流や用水路、河川の源流域や支流域に多く生息し、神奈川県では絶滅危惧IBに分類されています。ホトケドジョウが生息する谷戸の源流域は都市化による環境変化を受けやすく、鎌倉広町緑地は貴重な生息域のひとつとなっています。

イベントのお知らせ

夏休みのイベントとして、8月4(土)に「夜の昆虫観察」を8月25日(土)に「夏のチョウ観察」を行います。

みなさま、お気軽にご参加ください。

(里山さんぽの参加費は200円。申し込みは不要です。)

※イベントの詳細に関するお問い合わせは、管理事務所まで



● 鎌倉広町緑地管理事務所のご利用案内

鎌倉市津1133番地 ☎0467-32-5112 ホームページアドレス: <http://www.kamakurahiromachi.com>

運営時間: 午前8時30分～午後5時15分 年中無休 ※トイレ利用は管理事務所の運営時間のみとなります。